

科目名	成人・老年看護学実習Ⅱ	単位数・時間数	2 単位 90 時間	開講年次	2～3 学年
担当講師名	専任教員、実習指導者		実習場所	二戸・一戸・軽米・久慈病院	
目的	長期的に疾患(症状)をコントロールしていく必要のある患者の特徴を理解し、患者・家族が症状をコントロールしながら生活していくための継続的看護について学ぶ				
到達目標	1. 長期的に疾患(症状)をコントロールしていく必要のある対象の特徴を身体的・心理的・社会的側面から総合的に理解できる 2. 完全に治癒の望めない疾患(症状)をもつ対象とその家族への心理的支援ができる 3. 疾患(症状)の悪化の要因原因を低減し、安定した状態を保つための援助ができる 4. 継続看護の必要性を理解し、保健医療福祉チームの連携、協働における看護の役割を理解することができる				
実 習 内 容 ・ 方 法	対象：長期的に疾患（症状）をコントロールしていく必要のある患者 1. 長期的経過、生活習慣、生きがい等を整理しながら情報収集を行う。 2. 症状の安定や悪化の要因、治療の効果をアセスメントし、症状をコントロールしながらセルフケアを継続するための援助について実践する 3. 自己管理能力やサポート体制、家族についてアセスメントする 4. 退院調整会議や要介護認定調査へ参加し、退院に向けた調整について理解する 5. 退院・在宅へ向けての指導・教育を受ける患者の、心理的支援を行う 6. 受け持ち患者を支えるために、他部門のスタッフと連携し、継続看護の役割を理解する。（薬剤師、栄養士、各種療法士等） 7. 受け持ち患者を支えるために病院外の関係者と連携を取る必要性を理解する 介護支援専門員、訪問看護師、福祉介護施設職員、保健センター保健師 関係業者、ケアマネージャー 8. 受け持ち患者に必要な社会福祉サービスについて考える。				
備考	詳細は、実習要綱を参照する				
成績評価方法	実習評価表に基づき評価する				